

はづしょう 羽津小だより

令和3年10月28日発行

四日市市立羽津小学校

第17号

しゅうがくりょこう へ へん へん へん 修学旅行に向けて取り組みを進めています

ねんせい がついつち ふつか しゅうがくりょこう で い
6年生は、11月1日、2日と修学旅行へ出かけて行きます。これまでは
きょうとほうめん りょこう ていばん か りょこう
京都方面への旅行が定番でしたが、コロナ禍での旅行ということや、これまで
のきょうとほうめん かんせんじょうきょう こうりよ さくねんど い さき いせ とぼ
の京都方面の感染状況を考慮したうえで、昨年度から行き先を伊勢・鳥羽・
しまほうめん へんこう がっこう しゅうがくりょこう さくせい がいしゃ しゅくはくしせつ
志摩方面に変更しています。学校では修学旅行ガイドラインを作成し、バス会社と宿泊施設から
のコロナウイルス感染症予防の対策を確認して実施します。

がっこう しゅうがくりょこう む こうどうはん へや めんぼー き
学校では、修学旅行に向けて行動班や部屋のメンバーを決めました。そして、子どもたちは各班
でこうどうけいかく た ほうもんさきとら しら がくしゅう こうい ちゅういじこう
で行動計画を立てること、訪問先等の調べ学習とプレゼンテーション、しおりで行程や注意事項の



かくにん とく しら がくしゅう ほうもん ぼしょ おみやげ
確認をしています。特に調べ学習では、訪問する場所、お土産、キャラクタ
ー、旅館の様子など、興味や関心に応じて調べ、パワー
ポイントをつか ほうびょう がぞう つか
ポイントを使ってまとめ、発表をしました。画像を使い
ながらの説明でとてもわかりやすい発表になっていま
した。しゅうがくりょこう む かくら かくら かくら
修学旅行へ向かう子どもたちの気持ち表れてい



ほつびょう りょこう い じっさい み たいけん
た発表でした。旅行に行き、調べたことを実際に見たり、体験したりするこ
とで、生きて学びになっていきます。お天気も気になるところですが、参加者全員が、けがなく、
たいちょう くず かつどう おこな おも でのこ しゅうがくりょこう とりく
体調を崩さずに活動を行い、ステキな思い出が残る修学旅行になるように取り組んでいきます。
ねんせい ほごしや こ たいちやう との もの
6年生の保護者のみなさまには、お子さんの体調を整えたり、持ち物をそろえたりするなど、
ご協力をお願いいたします。

こうえんかい にんぎょうげ PTA講演会「人形劇(しあわせの種)」

ホームページでも紹介しましたが、10月22日に、9月23日に授業
公開とともに実施予定であったPTA講演会を行いました。当初は中止の予定
でしたが、参加者を6年生、PTA本部役員の方々、羽津地区まちづくり
すすしんきょうぎかい かた げんてい きぼ しゅくしやう おこな
推進協議会の方に限定し、規模を縮小して行うことができました。講師と
して、鷺見三重子さんをはじめとする「いのちの言葉プロジェクト」のメンバ
ーの方々をお招きしました。「いのちの言葉プロジェクト」は、交通事故等
でお子さんを亡くされた方や、活動に賛同する方々で構成され、人形劇を通して
「いのちの大切さ」を小中学生や高校生に訴えている方々です。子どもたち
には、ご自身のお子さんを亡くされた経験を基にした内容の人形劇「しあわ
せの種」やメンバーの講話を通して、いのちを大切にすることとは、「社会の
ルールを守ること」「ことばを大切にすること」だと教えていただきました。



子どもたちは、「命は自分だけのものではない。だから大切にしていかなければならない」といった感想を残していました。このような貴重な場を設定していただいたPTAのみなさま、羽津地区まちづくり推進協議会のみなさま、ほんとうにお世話になりました。なお、羽津地区まちづくり推進協議会のみなさんからは、子どもたち一人ひとりにパンフレットとステッカーをいただき、人形劇と同じ題名の絵本も数冊、支援していただきました。絵本については、図書室に置き、いつでも読むことができるようにしておきます。ありがとうございました。



図書館まつりが始まりました



10月25日から11月5日まで、図書館まつりに取り組みます。この期間中は、朝の学習の時間帯の「ぐんぐんタイム」で読書に取り組みます。また、1学期と同様に、5・6年生の図書委員会のメンバーが担当クラスに行き、読み聞かせを行っています。ICT機器を活用し、絵本を拡大して投影しながらの読み聞かせ活動です。そして、まざりいずさんのメンバーの方々には、読み聞かせをしていただいています。子どもたちが、瞳を輝かせながら読み聞かせを聴いている姿が印象的でした。各ご家庭でも「ふれあい読書カード」の取り組みへのご協力をよろしくお願ひします。



授業力向上のため、研修に取り組んでいます



「羽津小学校学校づくりビジョン 重点V 学校の教育力の向上」のとおり、子どもたちに力をつけていくために、さまざまな研修に取り組んでいます。最近では、ICT関係の研修、特別に支援が必要となる子どもたちへの取り組みを見直すための研修等に取り組んでいます。数ある研修の中で中心となるのが、わたしたちの授業力を向上させるための授業研究です。

今回は2年生で、算数科の授業研究に取り組みました。2年生の算数科の中では、かけ算について学習します。かけ算といえば、「九九」を暗唱できること、自然に使えるようになることがとても大切な力であり、生活のあらゆる場面でも素早く正確に対処していくことができます。それに加えて大切なのが、なぜその式になるのか、その式を立てたのかを、自分の言葉で説明する力です。新学習指導要領や全国学習・学力調査の中で求められている力のひとつです。タブレットを全員が操作しながら「かけ算のきまりを使って、九九パズルを完成させていく」活動をとおして、「自分の言葉で、なぜそうなるのかを説明する」という力をつけていこうという授業内容でした。今回の研修会では、授業のあり方、タブレットを効果的に活用すること、そして、子どもたち

一人ひとりを大切にしたいことを学び合いました。このような授業研究を繰り返し、教職員の授業力を向上させ、一人ひとりが学んだことをいかし、より「わかる授業」をめざし、研修を重ねていきます。

